

町政懇談会（産業別）

農業・漁業・商工業
各産業の課題を
意見交換しました

町長が地域に向いて、語り合う町政懇談会を、今年度は産業別にも開催しました。出された参加者の意見を一部ご紹介します。すぐには結論や答えの出ない課題も多く、活発な話し合いが行われました。今後の行政に活かしてまいります。

農業

7月13日
農協会議室 26人参加

エゾシカ対策について。今後も電牧柵の設置や駆除を継続してほしい。また、その他有効と思われる対策など。

シカを捕った後の処理や銃の管理が大変という問題もある。

アスバラ選別機の買い替えが必要。できれば町の助成をお願いできないか。J Aではアスバラ生産への期待は大きい。

さわやか市場で使用している土地の使用料を免除してもらえないか。

農家の高齢化が進み、後継者確保が課題となっている。今後の農業振興対策の町の考えを聞かせてほしい。

新規就農者への支援より、今、後継者として頑張っている者へ支援の費用をかけたほうがよい。

就農支援として、農地の賃貸料や固定資産税の減免、土地購入時の借入の利子助成など考えてもらえないか。

朝日方面の「すこやかロード」を夜間歩く人が多いが、暗く車が危険。街灯などを整備し少しでも明るくしてほしい。



商工業

7月23日
商工会会議室 30人参加

中小企業特別融資貸付の特例措置の期限延長と金利の引き下げを検討してもらえないか。

住宅リフォーム助成の継続を、を含めてお願いしたい。期限の延長、店舗併用住宅も対象に、高齢者などは補助額引下げを、下請業者も町内業者に指定するよう。

リフォームだけでなく新築もどうか。

「道の駅」利用者は、観光・物産の情報発信がどこかとまどっている。情報発信基地としてバラ園売店付近に観光物産館があればよい。特産品の開発や、地場産品の展示販売がいい。また、観光でも天売・焼尻を活かした取組みを町が声をあげてできないか。

来年の高卒者の就職について、町として就職支援をどのように考えているか。若者を育てていく資金援助の体制を考えてほしい。

プレミアム商品券は、経済効果も大きく町民にも喜ばれた。景気刺激のため単年度でなく継続できないか。

商工業を取り巻く厳しい現実へ、町はどのような見解、考えがあるのか。



漁業

7月28日
漁村センター 19人参加

イベントがいろいろ中止となり活気がない。親しみやすいキャラクターを作ってはどうか。

漁獲高日本一の甘えびをもっと大々的に取り上げPRして何ができるか。町の取組みが見えない。他の町村に比べ、取組みが甘い。

若い新規の漁業者に漁船や漁具の購入補助を少しでもできないか。

高台のごみ処理施設への搬入。いちいち役場に行くのではなく簡単にできないか。

水産荷捌所と漁協事務所の建設に関係し町の補助要望と建設予定地の段差解消の要望。

上架施設の背後地に砂が飛んできてひどい。相当前から要望している。試験的にでもいいから、ネットなど設置して安価で壊れない程度の措置をとってほしい。

小型船を係留している福寿川の岸壁を整備してほしい。ホテルからの景観もあるが、不安定で危険。

港の船を係留しているところ崩れている。多額の金額がなくても地元業者で安く簡単に、年に1〜2隻分でも補修やってみては。

